

一般会計 465億7千万円

総額 796億7千885万9千円

【歳入の用語解説】

- 市税...市民税など市に納めていただく税金
- 国庫支出金...国からの補助金など
- 市債...国などからの借入金
- 繰入金...市の預貯金から下ろしたお金
- 県支出金...県からの補助金など
- 地方消費税交付金...県に配分された地方消費税の内、各市町村の人口割合などで交付されるお金
- 諸収入...ほかの収入科目に含まれない収入
- 使用料及び手数料...公共施設の使用料や住民票などの交付手数料
- 繰越金...前年度から繰り越したお金
- その他...自動車取得税交付金や地方交付税など



狭山市駅西口の完成イメージ

効率的・効果的に配分

平成21年度の当初予算

平成21年度予算の一覧表

区分	平成21年度予算額 (前年度比)	増減率 (%)	
一般会計	465億7千万円 (47億7,000万円増)	11.4	
特別会計	国民健康保険	148億6,061万4千円 (2,679万9千円増)	0.2
	下水道事業	44億5,884万2千円 (4億7,874万3千円減)	9.7
	老人保健	3,394万3千円 (10億4,691万2千円減)	96.9
	狭山都市計画事業上広瀬 土地区画整理事業	1億9,292万2千円 (2,177万1千円増)	12.7
	狭山都市計画事業狭山市 駅東口土地区画整理事業	6億7,477万3千円 (8,263万円減)	10.9
	介護保険	68億1,709万4千円 (9,014万8千円増)	1.3
	後期高齢者医療	12億7,023万1千円 (673万8千円減)	0.5
計	283億841万9千円 (14億7,630万5千円減)	5.0	
水道事業会計	48億44万円 (1億8,022万円減)	3.6	
合計	796億7,885万9千円 (31億1,347万5千円増)	4.1	

平成21年度当初予算が、第1回定例市議会で成立しました。予算では、限られた財源をより効率的、効果的に配分し、経費の縮減を図りつつ、必要な事業へ重点的に配分しました。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。

一般会計予算

前年度比11・4%増

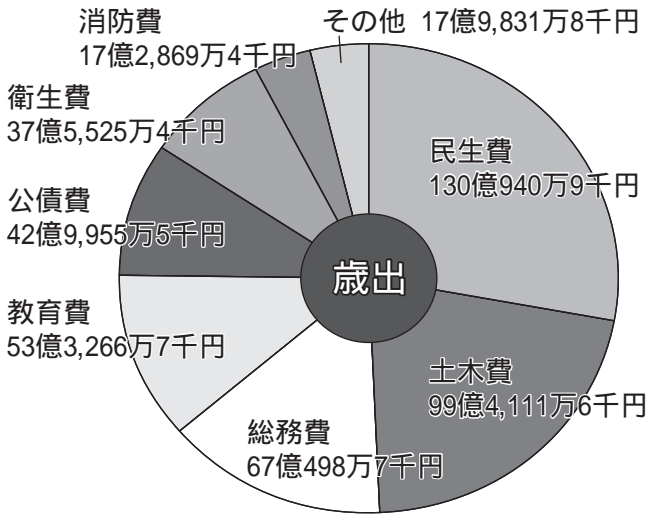
市財政の中心となる一般会計予算額は、465億7千万円で、前年度比47億7千万円(11・4%)の増となりました。また、特別会計と水道事業会計を含めた予算総額は、796億7千885万9千円で、前年度比4・1%の増となりました。

歳入

一般会計の歳入のうち最も多いのが、個人市民税や法人市民税、固定資産税などの市税225億7千510万円で、全体の48・5%を占めています。続いて多いのが国庫支出金(12・8%)で、市が行う特定の事業に国から交付される補助金などです。次に多いのが事業を行うために国などから借入れる市債(11・0%)です。そして、繰入金(10・8%)、県支出金(3・9%)、地方消費税交付金(2・4%)などの

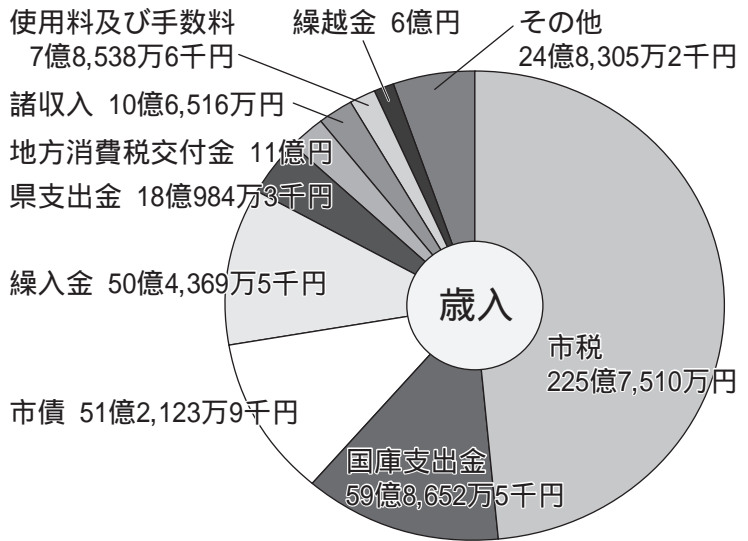
歳出の内訳

グラフ2



歳入の内訳

グラフ1



【歳出の用語解説】

- 民生費...高齢者、障害者、児童等の福祉など
- 土木費...道路や公園の建設や修繕など
- 総務費...市の運営費など
- 教育費...学校や図書館などの修繕や運営費など
- 公債費...市の借入金の返済
- 衛生費...ごみ処理やリサイクル、環境対策、健康診査、予防接種など
- 消防費...消防や防災など
- その他...議会費や商工費、労働費など

市民一人が負担する市税

総額14万2,366円 表1

区分	負担額
市民税	6万9,665円
固定資産税	5万9,896円
都市計画税	6,321円
市たばこ税	5,449円
軽自動車税	1,034円
特別土地保有税	1円

歳出の性質別内訳

表3

区分	歳出額	内訳	割合
人件費	108億1,620万5千円	職員給、共済組合負担金、議員報酬など	23.2%
投資的経費	90億6,719万9千円	道路や施設の建設のための経費など	19.4%
扶助費	70億3,888万1千円	社会保障制度の一環として、法令などに基づき被扶助者に支出される経費。生活保護費、児童手当など	15.1%
物件費	65億8,544万4千円	他の性質に属さない消費的な経費。委託料、備品購入費、臨時職員賃金など	14.0%
公債費	42億9,955万5千円	借入金の元金や利子の支払に要する経費	9.2%
繰出金	40億1,646万3千円	特別会計へ支出する経費	8.6%
その他	48億8,363万3千円	各種補助金、貸付金、維持補修費など	10.5%

市民一人当たりの歳出

総額29万3,685円 表2

区分	歳出額
民生費	8万2,041円
土木費	6万2,692円
総務費	4万2,284円
教育費	3万3,629円
公債費	2万7,114円
衛生費	2万3,682円
消防費	1万902円
その他	1万1,341円

人口...15万8,571人
(平成21年1月1日現在)



順になっています。
また、表1は、市税の歳入を市民の皆さん一人当たりで換算したもので、市民税が全体の49.0%を占めています。

一般会計の歳出では、高齢者や障害者、児童などの福祉に使われる民生費130億9,940万9千円が最も多く、全体の27.9%を占めています。次に、道路や公園の整備・改修など、都市基盤の整備に充てられる土木費99億4,111万6千円(21.4%)、庁舎や財産の管理など、市の運営などに使われる総務費67億4,987万7千円(14.4%)、さらに教育費(11.5%)、公債費(9.2%)、衛生費(8.1%)などの順になっています。

表2は目的別歳出を市民の皆さん一人当たりで換算したもので、一人当たり約29万円が使われる見込みです。また、表3は歳出を性質別に表したもので、人件費が全体の23.2%で、続いて投資的経費(19.4%)、生活保護費、児童手当などの扶助費(15.1%)、委託料や備品購入費などの物件費(14.0%)となっています。

問合せ財政課へ内線7113